



# DAIDO CAMPUS

No.97 2019.07



5/25sat・26sun

D A I D O

# 第54回大学祭(宴祭) “華宴”~ NO UTAGE NO LIFE ~

大学祭が、5月25日(土)、5月26日(日)の2日間で開催されました。  
今年で第54回目の開催となる今回は“華宴”~NO UTAGE NO LIFE~  
というテーマのもと、大学祭実行委員会を中心に準備をしてきました。  
当日は学内外問わず多くの団体が参加をし、屋台やステージ発表、移動  
動物園など盛りだくさんの企画が行われ、終始大きな盛り上がりを見せました。  
後夜祭では「嘘とカメレオン」の特別ライブが行われ、熱気あふれる2日間と  
なりました。





写真提供:アルバム委員会



## 創立80周年記念式典が行われました!

5月12日(日)に、学校法人大同学園の創立80周年記念式典が行われました。

第1部は、大同学園理事 三田敏雄氏(中部電力株式会社 相談役)と澤岡昭名誉学長による特別対談会。大同学園の源流である福澤桃介と木曾川電源開発について話された他、三田氏ご自身の経験談を交えながら話はずみしました。

第2部の記念祝賀会では、大同学園理事 嶋尾正氏(大同特殊鋼株式会社 代表取締役会長)が祝辞を述べられ、来賓代表の方々と奥村博司理事長、神保睦子学長、服部保孝校長による「鏡開き」、「大同学園80年の歩み」のスライド上映、アトラクションのイリュージョンマジックショーでは一段と盛り上がりしました。

特別対談会、記念祝賀会ともに、和やかな雰囲気の中、滞りなく進み、学内外関係者およそ200名の参加者の笑顔溢れる記念式典となりました。

創立80周年を迎えた大同学園は、これからも建学の精神である「産業と社会の要請に応える人材の養成」をめざし、邁進していきます。



男女ハンドボール部

東海学生ハンドボールリーグ 春季リーグ戦

男子3位 女子5位

個人賞受賞者

男子 得点王:平井亮多さん(3年)  
優秀選手:伊藤太一さん(4年)  
女子 敢闘賞:西尾麻佑さん(4年)



## 大杉憲由さん(総合情報学科 経営情報専攻) ハンドボール男子日本代表 U19チームのアナリストに 選出されました!

ハンドボール男子日本代表U19チームのアナリストに、本学の男子ハンドボール部所属の総合情報学科経営情報専攻3年の大杉憲由さんが選出されました。



▲データや分析と向き合う大杉さん

アナリストとは、自分のチームや相手チームの映像・データを分析することが仕事であり、チームにとって重要な役割を担っています。大杉さんは本学男子ハンドボール部のアナリストとして、普段からチームの活躍に貢献しており、その実績が認められ今回の選出につながりました。日本代表のアナリストに、現役大学生でありながら抜擢されたことはとても珍しく、まさに快挙と言えます。

今回、この選出が決まり大杉さんは「素直にうれしい、今回の経験を糧に東京オリンピックにもアナリストとして挑戦していけたら。」と話していました。

大杉さんのU19チーム代表スタッフとしての活動は、6月25日(火)~28日(金)の強化合宿からはじまり、8月にはマケドニアにて開催される第8回ユース世界選手権に出場します。U19チームと、大杉さんの活躍に期待しています!



▲大同キッズのみなさん

## 大同キッズが 公式戦で初勝利をしました!

6月9日(日)、愛知県体育館で開催された、第21回愛知県小学生ハンドボール交流会に大同キッズが参加しました。

過去最多のチームが参加した今大会で、大同キッズの子どもたちは、本学の卒業生がデザインしたユニフォームを着て元気一杯にプレーし、公式戦初勝利を挙げることができました。

また、チームには本学男子ハンドボール部の学生が帯同し、円滑な運営をサポートしました。

大同キッズは、9月に開催される大会を目指して今後も活動していきます。



▲今回、運営をサポートした男子ハンドボール部伊藤終有さん、林田大史さん、大杉憲由さん、田口亮太さん(左から)

## クリーンアップキャンペーンを行いました

春のオープンキャンパスの開催に合わせ、その前日である6月1日(土)にクラブ委員会主催のクリーンアップキャンペーンを行いました。

このキャンペーンは、本学のクラブに所属する学生達が大同町駅ー滝春校舎ー白水校舎間の道路清掃を行うものです。

このイベントは名古屋市が主催する「環境デーなごや2019」の活動と並行しておこなわれ、今回は200名を超えるクラブ所属学生が参加し、街を綺麗にしました。



## クラブ対抗 ボウリング大会が行われました!

毎年クリーンアップキャンペーンの後にクラブ委員会主催で行っているクラブ対抗ボウリング大会が、今年は稲沢ボウリング場にて盛大に行われました。

参加チーム数34チーム、参加者総数164名と多くの参加者のもと、優勝に輝いたのはバレーボール部。2位にはフットサル同好会、3位には男子ハンドボール部が入りました。

参加者は皆、所属クラブの垣根を越えて、親睦を深めました。



順位	団体名
優勝	バレーボール部
2位	フットサル同好会
3位	男子ハンドボール部

写真提供:アルバム委員会



### 模型部

## スケールアヴィエーションコンベンション2019にて優秀賞を受賞しました

各月刊の飛行機模型専門誌「スケールアヴィエーション」が主催する飛行機模型コンテスト「スケールアヴィエーション コンベンション2019」にて、本学模型部 4年の畑井諒介さんが優秀賞を受賞しました。

毎年テーマを変えて実施される当コンテストの今回のテーマは「フランカー」と呼ばれるロシアの戦闘機。応募総数111点の中から優秀賞に選ばれた畑井さんは今回が初参加でした。「模型部に入部して仲間と一緒に好きな模型に打ち込める環境があったことが、結果的に技量を伸ばすことにつながりました。模型作りに必要な工作力や塗装力を将来どこかで役立てられたらと思っています。」と話していました。



▲受賞した畑井さん

山中瞭平さん(建築学科・建築専攻 卒業生)、  
永田峻将さん(建築学科・インテリアデザイン専攻 卒業生)、  
鈴木賢太さん(建築学科・インテリアデザイン専攻 卒業生)

## 『Nagoya ArchiFes2019 中部卒業設計展』でファイナリスト・ 入選に選出されました!

3月11日(月)・12日(火)に吹上ホールで開催された『Nagoya ArchiFes2019 中部卒業設計展』にて、建築専攻 宇野亨研究室 卒業生 永田峻将さん、インテリアデザイン専攻 船橋仁奈研究室 卒業生 山中瞭平さん、インテリアデザイン専攻 武藤隆研究室 卒業生 鈴木賢太さんの作品が、ファイナリスト及び入選に選出されました。

今回の卒業設計展のキャッチコピーは「芽吹く、建築」であり、山中さんの「孤島のねっ子一臨島学校によって紡がれる記憶ー」がファイナリスト10選に、永田さんの「植知喰生建築症候群ー人工知能植物類似建築体ー」、鈴木さんの「3.5PLACE STATION エキナカの学びの空間の提案」が入選17選に選ばれました。

本設計展では、これから先の建築や風景、そのあり方、方法論等に対し、多様な評価軸により議論が交わされ、4年間の集大成とも言える卒業設計を顧みる有意義な時間となりました。

Nagoya Archi Fes 2019

ー中部卒業設計展ー

<http://nagoya-archi-fes.com/gde>



▲大勢の人の前でプレゼンをする山中さん(上)、永田さん(中央)、鈴木さん(下)

## 山中瞭平さん(建築学科・インテリアデザイン専攻 卒業生) CIP学生賞を受賞しました!



▲CIP学生賞を受賞した山中さん

3月27日(水)、中部インテリアプランナー協会(CIP)が主催する「CIP学生賞」にインテリアデザイン専攻 船橋研究室 卒業生 山中瞭平さんの卒業設計作品「孤島のねっ子一臨島学校によって紡がれる記憶ー」が選出されました!

CIP賞は中部インテリアプランナー協会が主催する、おもに中部地域の学生の卒業設計作品を対象としたものです。

今回のCIP学生賞受賞作品は、2019年5月発刊の「CIP情報誌 VOL.28」に掲載され、2019年6月開催のCIP第23回通常定期総会の会場内にて作品パネルとともに発表されます。

中部インテリアプランナー協会

<http://www.chubu-ip.com>



永田峻将さん(工学研究科・修士課程)、  
内藤豪也さん(建築学科・建築専攻 卒業生)

## 『キルコス国際建築設計コンペティション2018』で入賞しました!

キルコス国際建築設計コンペティション実行委員会主催の『キルコス国際建築設計コンペティション2018』にて、大学院工学研究科 修士課程 宇野研究室 1年 永田峻将さんと建築専攻 宇野研究室 卒業生 内藤豪也さんが、「72の知らせ」(作品番号078)で見事入賞しました!

キルコス国際建築設計コンペティションは、20組の審査員一人ひとりが、金賞・銀賞・銅賞・佳作を選定する国際建築設計コンペティションです。各審査員が、金賞一点、銀賞一点、銅賞一点、必要に応じて佳作数点を選定し、その全てを表彰します。

永田さん、内藤さんの作品「72の知らせ」は、応募作品104点の中から、武藤圭太郎氏の「銀賞」、studio velocityの「銅賞」、篠原寛之氏、槻橋修氏、平野利樹氏の「佳作」と、多数の賞を受賞しました!

3月23日(土)～31日(日)に、トヨタホーム本社セミナールームで『キルコス国際建築設計コンペティション2018』の展覧会が開催され、3月24日(日)には最終審査会および授賞式が行われました。

キルコス国際建築設計コンペティション2018

[http://www.circos.jp/index\\_j.html](http://www.circos.jp/index_j.html)



## 川元信国さん(大学院 修士課程) 日本設計工学会東海支部 研究発表講演会学生優秀発表賞を 受賞しました!

3月2日(土)に名城大学にて日本設計工学会東海支部研究発表講演会主催の「日本設計工学会東海支部研究発表講演会」が行われ、大学院 工学研究科 修士課程 西脇研究室 2年 川元信国さんが学生優秀発表賞を受賞しました!



▲受賞した川元さん

この講演会は、中部地区の大学を中心に関東や関西、中国地方からも研究者が集まり発表を行うものです。今回は全部で41件の発表があり、学生優秀発表賞は優秀だった数件の発表にのみ与えられるものです。

川元さんは塑性加工分野で「V曲げ成形金型の設計手法の検討」を発表しました。これはV字形状にアルミニウム合金版を曲げるときの金型の設計に関する研究となります。板を曲げる際に発生するスプリングバックという現象により、金型と曲げた後の板の形状が一致することはありません。そのため、通常はCAEを用いてシミュレーション解析を行うことで板の形状を予測し、金型形状を決定しています。

それに対し、川元さんの研究は金型の寸法とスプリングバック後の板の寸法の関係を、ニューラルネットワークなどの近似関数を用いて学習させ、CAEを用いずとも金型の形状決定を可能にするという研究で、金型形状を作る際の時間的・費用的コストの削減が期待できます。



日本設計工学会東海支部

<http://www.jsde.or.jp/tokai/pdf/KouenkaiH30Program.pdf>

## 奥山智美さん(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻) 中日新聞の「manaVIVA」に 大同大学が取り上げられました

4月21日(日)付中日新聞朝刊の「manaVIVA」というコーナーで、大同大学が取り上げられました。

「manaVIVA」は中日新聞の日曜朝刊で、教育をテーマにコラムやニュース、相談などを取り上げているコーナーです。

今回は、「ぼっちもつながりも大切」というテーマのもと、大同大学が毎年4月に行っている新入生合同オリエンテーションが紹介され、大学生活での人と人とのつながり強化の動きが記事になりました。

またこの記事の中では、「manaVIVA」の学生スタッフとして活躍するメディアデザイン専攻 小高研究室 4年の奥山智美さんも自身のぼっち観について「他の人と共通の話題になる趣味を見つけるのが早いと思う。でも、ぼっちはそんなに気にすることではないかも。」とコメントしました。



▲4月21日(日)付 中日新聞

## オリエンテーション合宿 先輩サポーター 学生部長賞を受賞しました!

本学では「先輩サポーター」と呼ばれる学生スタッフの協力のもと、新入生オリエンテーション合宿を実施しています。

先輩サポーターは、合宿へ参加する各学科・専攻から代表で選出されており、およそ5ヶ月の間にミーティングを重ね、合宿で実施するレクリエーションの企画や準備、当日の運営まで行います。

5月15日(水)にはその功労をたたえ、学生部長による慰労会の開催と、学生部長賞の授与がおこなわれました。

先輩サポーターの中には、次年度も先輩サポーターとして新入生オリエンテーション合宿の企画・運営に携わりたいと意気込む姿もありました。

関連記事:[新入生オリエンテーションを実施しました!](https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/post-195.html)

[https://www.daido-news.jp/daido\\_news/notice/post-195.html](https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/post-195.html)



◀学生部長賞を受賞した木下さん(左)、杉浦さん(右)

## (2019年度新入生オリエンテーション合宿 先輩サポーター)

大学院 工学研究科 機械工学専攻	大島 恭平さん
大学院 工学研究科 建築学専攻	西川 将司さん
工学部 機械工学科	中村 綾さん、長屋 朱音さん、福岡 花恋さん、 岩堀 陽斗さん、瓜生 響さん、清水 大輝さん、 清水 泰晶さん、末房 七海さん、林 大智さん、 南谷 舞さん、山田 峻人さん
工学部 総合機械工学科	廣岡 双一さん、福永 紘之さん、 岩田 歩乃佳さん、坂本 梨菜さん、 濱島 綾香さん、林 亮介さん、山内 理央さん
工学部 機械システム工学科	池上 蘭真さん、一丸 幹太さん
工学部 建築学科 建築専攻	川村 安奈さん、久保 将矢さん、森下 大成さん、 加藤 大貴さん、河瀬 太一さん、竹重 和孝さん、 羽根 凜花さん
工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻	木下 紗英さん、熊谷 誠さん、土岐 彩花さん
工学部 建築学科 土木・環境専攻	阿蘇品 果苗さん、木村 真菜さん、田中 悠希さん、 村上 滉一さん、山口 敬大さん、吉田 遥夏さん
情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻	権田 航大さん、山田 葵さん、山手 彩加さん、 朝倉 幹也さん、木下 奈実さん
情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	中川 真佑さん、五條 大河さん、今関 香姫さん
情報学部 総合情報学科 経営情報専攻	関口 亜純さん、中野 将司さん、 東 美里さん、杉浦 大輝さん



西脇武志研究室(大学院 修士課程)

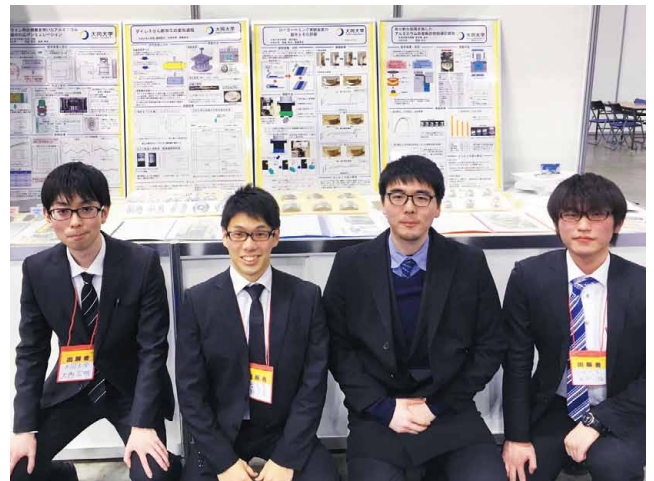
## ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2019へ出展しました!

3月19日(火)・20日(水)に吹上ホールにて一般社団法人 中部産業連盟主催の「ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2019」に大学院 工学研究科 修士課程 西脇研究室 2018年度修了生の杉田大樹さん、2年の大西宏明さん、川元信国さん、深井陽介さん、1年の後岡一騎さんが参加しました。杉田さんら5名は、テクサポネットブースの大学研究室展示に出展し、研究シーズを紹介しました。

「ネクスト・イノベーション・テクノロジーフェア2019」は「現地・現物」の観点から、モノづくり・人づくり・仕組みづくりを念頭に、市場・技術動向を踏まえた幅広いテーマとそれを深掘りした技術講演会、人材育成、経営マネジメントに至るセミナーなどが開催されています。

また、展示会開催に併設された会場で、テクサポネット技術セミナー「イノベーションを生み出す基盤技術・材料技術」という講演会が行われ、西脇教授が「アルミニウム合金板の部分軟化成形法」というテーマのもと講演を行いました。

なお、テクサポネットは、中部経済産業局が世話人となっている大学・公設研究所・中小企業をつなぐものづくり支援のネットワークです。



▲(左から) 出展をした大西さん、杉田さん、川元さん、後岡さん

ネクスト・イノベーション・テクノロジー  
フェア2019

<https://www.chusanren.or.jp/nitf2019/>



杉本幸雄研究室  
(情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

## 2019年度大学プロモーション ビデオを作成しました!

メディアデザイン専攻 杉本研究室に所属の学生たちが、杉本教授の指導のもと監督・助監督・照明等のスタッフを担当し、大同大学のプロモーションビデオを制作しました。

ストーリーや、絵コンテの作成、施設の借用や出演交渉から、セリフや音、演出、編集まですべてを学生が担当し、学内でロケを行いました。

このプロモーションビデオは、6月2日(日)に開催されたオープンキャンパスで初お披露目され、HPでもご覧いただけます。

PVはこちらからご覧いただけます

<https://www.daido-it.ac.jp/gallery/>



▲取材中の様子

谷口真伍さん、尾崎太一さん、杉原拓実さん  
(大学院 修士課程)

## 日本鑄造工学会・ 第173回全国公演大会にて 発表しました

5月18日(土)・19(日)に、千葉工業大学にて開催された、公益社団法人 日本鑄造工学会第173回全国講演大会にて、大学院 工学研究科 修士課程 前田研究室の学生3名が研究発表を行いました。

発表内容は以下の通りです。

大学院 工学研究科 修士課程 前田研究室

2年 谷口真伍さん

「アルミニウム合金鑄造におけるポケット位置が充填挙動に及ぼす影響」

1年 尾崎太一さん

「水モデルダイカスト装置を用いたボス・リブを有する薄肉平板キャビティの湯流れ解析」

1年 杉原拓実さん

「ダイカストスリーブへのラドル注湯における流動現象とMPS粒子法シミュレーション」

前田研究室HP

<https://yasuhiro-maeda.com/>



▲(左から) 谷口さん、尾崎さん、杉原さん

佐藤達生名誉教授

## 日本経済新聞朝刊で、 ノートルダム寺院火災について コメントしました

4月17日(水)付日本経済新聞朝刊の記事「仏の象徴、深い爪痕 ノートルダム寺院火災」で、本学の佐藤名誉教授がコメントしました。

パリ中心部のノートルダム寺院で4月15日夜(日本時間16日未明)に起きた大規模な火災で、尖塔(せんとう)や屋根が焼失しました。フランスの歴史や宗教の象徴的な存在である寺院の災禍は、フランス国民に大きな衝撃を与えました。マクロン仏大統領は「大聖堂を再建する」と宣言しましたが、修復には数十年かかるとの見方もあります。

消失した寺院の上部構造は森と呼ばれるほど複雑に木材が組み合わされており、著名建築家バンジャマン・ムトン氏は仏メディアに「元通りにはならない」と指摘しています。それらを受けて、佐藤名誉教授(建築史)も「石造部分も大きな損傷を受けている可能性があり、修復には 相当な時間がかかるのではないか」とコメントしました。



▲4月17日(水)付 日本経済新聞

宮本潤示講師(機械工学科)

## The 10th Advanced Forum on Tribology 2019 Chengdu にてInvited Talkを行いました

4月12日(金)~14日(日)に中国の成都にて開催された、中国機械工程学会摩擦学会と日本トライボロジー学会主催の「The 10th Advanced Forum on Tribology 2019 Chengdu」にて、機械工学科の宮本講師がInvited Talk(招待講演)を行いました。

本フォーラムは「ハイレベルのトライボロジー技術交流を実現したい」という日本と中国のトライボロジー学会の合意を基に、種々トライボロジー分野の最先端技術に関する議論とともに、トライボロジーの発展と日中間の研究者・技術者の一層の交流を深める場として、2010年から毎年行われているものです。

宮本講師は、「Plasma Nitriding of Tool Steel by Electron Beam Excited Plasma」(発表者:Junji Miyamoto)というタイトルで発表をしました。

この発表は、鋼がプラズマ窒化処理された際に形成する化合物層の形成メカニズムについて述べた後、その化合物層の制御に関する処理法の提案とその形成した窒化層の特性についての紹介となっています。



▲講演の様子

宇野享教授(建築学科 建築専攻)

## 日本建築学会「2019日本建築学会 作品選奨」を受賞しました

建築学科の宇野享教授が、日本建築学会が主催する「2019年日本建築学会作品選奨」を受賞しました。この賞は、その年の作品選集掲載作品のうち特に優れた作品に送られるもので、宇野教授は、なんと2017年の「風の街みやびら」、2018年の「あぶくま更生園」に続き、3年連続の日本建築学会作品選奨受賞という快挙を成し遂げました!

2019年の受賞対象作品は、岐阜県南西部に位置する北方町の新庁舎「北方町庁舎」です。

日本建築学会からは「庁舎の印象を決定付ける大屋根のデザインは、古くから町民に愛されてきた北方祭りの山車や円鏡寺(重要文化財)の屋根など、共通の記憶に接続されるように採択されたものである。地域が持つ歴史的・神秘的性を大切に、人々の心象風景を現実化する意匠であるとともに、…自然と建築を融合させる「環境装置」でもある。…屋根をえぐって設けられた上階の「谷テラス」側面が、光と風を通す開口部となり、ここから近くの壁や天井にリフレクションを繰り返しながら1階まで光が降り注ぐことになる。その結果、職員も町民も柔らかいスポットライトを浴びることになり、活き活きと美しく活動する光景が繰り返される。開放的でありながら落ち着くことのできる居場所が随所に生まれ、高校生がふらりと勉強しにやってくる。文字通り、人々に開かれた親しみやすい公共建築を実現している。(一部抜粋)」などと高い評価を受けました。

日本建築学会 2019年各賞受賞者

<https://www.aij.or.jp/2019/2019prize.html>


▲□□□□□□□□

澤岡昭名誉学長

## 新聞論評が毎日新聞に掲載されました

澤岡昭名誉学長の新聞評論が2月~5月の第1木曜日毎日新聞朝刊のメディア



▲5月2日(木)付 毎日新聞

時評欄(全国版)に掲載されました。それぞれ過去1ヵ月間の毎日新聞記事の中からテーマを選んで評論が行われ、その主な内容は以下のとおりです。

- 2月7日:イブシロノケットの成功は喜ばしいが、目標のコスト削減は困難であることをしっかりと報道すること。
- 3月7日:中部電力は建設中の武豊火力発電所に大規模な木質燃料の導入というチャレンジを行っていることや、不安定な太陽光発電を使いこなすためには送電網の構築と蓄電技術の開発が必要であることを消費者目線での解説が必要であること。
- 4月4日:夢のような自動運転がすぐにでも実現するような報道から現実を見据えた報道をしてほしいこと。特に自動運転の推進には道路の整備が不可欠であるが、国と自治体にはその財源がほとんどないことを踏まえた報道をすべきであること。
- 5月2日:「はやぶさ2」の小惑星着地とインパクト打ち込みの成功は素晴らしいことであるが、お祭り騒ぎのような報道が続いており、楽観的な雰囲気には水を差すような批判的な分析記事が見当たらないことに一抹の不安を感じる。

光田恵教授(建築学科 かわりデザイン専攻)

## イオンカード会報誌「mom」で 「家のおいと消臭方法に関する 特集」の監修を行いました

イオンカード会報誌「mom」の2019年5月号の中で「家のおいと消臭方法に関する特集」を光田教授が監修しました。

「梅雨の季節が来る前に“おうち臭”をリセットしよう」p50-p57の特集を監修し、水回り、布類、電化製品など「おうち」に関わるものを、重曹、クエン酸を使い手軽に行える臭気対策を紹介しました。



樋口恵一講師(建築学科 土木・環境専攻)

## 地域公共交通セミナー(春季)にて 講演を行いました

5月13日(月)に、国土交通省中部運輸局愛知運輸支局と愛知県の主催にて開催された「地域公共交通セミナー(春期)」において、樋口講師が基調講演を行いました。



▲講演の様子

本セミナーは、地域に合ったより良い公共交通の未来に向け、地域公共交通会議を運営していくために、必要となる基礎的な知識の習得及び理解の深度化を目的とし行われています。今回は、地域公共交通に関わる地方自治体の職員および交通事業者の担当者を対象に、法令規則や制度の解説、事例紹介などが行われたほか、個別相談会なども設けられました。

樋口講師は、「地域公共交通をコーディネートする意義と役割」というタイトルで、地域公共交通の役割や都市の将来像を見据えた関係機関との連携の重要性等を、研究活動の事例を交えて講演を行いました。

光田恵教授(建築学科 かわりデザイン専攻)

## 講演会を開催しました



▲講演の様子

一般社団法人「建設設備技術者協会中部支部設備女子会」と一般社団法人「日本建築学会東海支部女性会員の会」が“ダブル主催”で行う講演会で、かわりデザイン専攻 光田恵教授が講演を行いました。

今回初めてのコラボレーション事業として開催されたこの講演会は、様々な立場から建築の多様で広範な分野における男女共同参画の意義を考えることを目的とし、講演と講座の2部制で行われました。

光田教授は第1部の「生活環境のおいとかわり」の講師として講演を行いました。

講演内容は「嗅覚テストをやってみよう」、「住まいのおい対策」、「かわりの活用」、「フレグランスソルトづくり体験」など体験を交えながらの講演で、参加者の楽しそうな笑顔と、光田教授の真剣なまなざしが印象的でした。

第2部では中部支部設備女子会運営委員の方々講師となり、「建築学生のためのキャリアデザイン講座&交流会」を行いました。

この交流会では、建築を学ぶ学生が建設業界で働く社会人との交流を深めることを目的とされています。



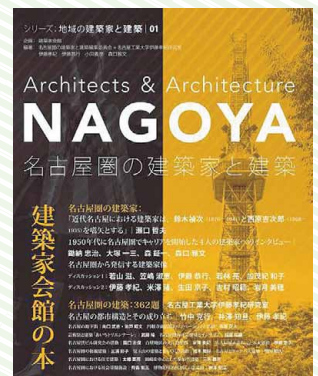
## 新刊 紹介 「名古屋圏の建築家と建築 (シリーズ:地域の建築家と建築 1)」の 一部を執筆しました

武藤隆教授、米澤隆講師(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

3月14日(木)に建築メディア研究所から発行された書籍「名古屋圏の建築家と建築(シリーズ:地域の建築家と建築 1)」の一部の執筆を、建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻の武藤教授、米澤講師が担当しました。

本書は、名古屋圏の建築家と建築を紹介するシリーズで、明治から現在までの建築家像を紹介し、実際に建築を訪れるための建築ガイドとなる分かりやすい地図と各建築の紹介をするものです。

米澤講師は、【名古屋圏の建築家】のコーナーで、「2000年代に名古屋圏で設計活動を開始した5人の建築家が語る名古屋の今、そして未来」と題したディスカッションに登壇、武藤教授は、【名古屋圏の建築】のコーナーで、『芸術祭と建築「あいちトリエンナーレ」』と題したコラムを執筆いたしました。



企画:建築家会館  
編著:名古屋圏の建築家と建築編集委員会+  
名古屋工業大学伊藤孝紀研究室  
発行:建築メディア研究所 発売:建築技術  
発売日:2019年3月14日 判型・頁:A4判変形・232頁  
ISBN:978-4-7677-0162-2 価格:2,700円+税

## 新入生オリエンテーションを実施しました!

4月4日(木)・5日(金)と4月5日(金)・6日(土)、静岡県浜松市で新入生オリエンテーション合宿を機械工学科、機械システム工学科、建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻/土木・環境専攻、情報デザイン学科、総合情報学科の学生を対象に実施しました。

このオリエンテーション合宿は、1泊2日の合宿を通して教職員や先輩学生、新入生同士など様々な人とふれあい、コミュニケーションをとることで今後の大学生活をより充実したものにすることを目的として行われます。

今回のオリエンテーションでは、イベント企画研究会主催の謎解き

ゲームや機械工学科考案のスタンプラリーなど、在生が中心となりレクリエーションを行い交流を深める様子が見られました。アンケートでは「最初は不安だったけどいろんな人と親睦を深めることができ楽しかった」という声や「友達がたくさんできた」という声が多く挙がり、初めは緊張していた学生も最終日には打ち解けあい、たくさんの笑顔を見ることが出来ました。

これからの4年間、さらに多くの人とふれあい、密度の濃い充実した大学生活を送ってください!



写真提供:アルバム委員会

## 新棟建設工事 起工式を行いました

4月25日(木)、本学の新棟建設工事の起工式が、建設地である現在の「滝春第2グラウンド」にて厳粛に執り行われました。完成は2020年中を予定しています。

新棟には現在の白水キャンパスの機能が移設されるとともに、新たな学生ホールも設置されます。2021年4月から新たな学舎としてスタートします。



▲起工式の様子

## 野島大策さん、菱田敏貴さん、佐々木健流さん 理事長賞を受賞しました!

経理室の野島大策さん(現教務室)、菱田敏貴さん、佐々木健流さんが「わたしの提案」において、理事長賞を受賞しました。

「わたしの提案」は事務職員が日常

業務のなかで発明考案・業務改善をすすめ、その業績が顕著であると認められた提案が表彰されるものです。

三名は経常費補助金の更なる獲得を目指し、ホームページに公開している大同高校の財務情報の見直しを進めてきました。その結果、2019年度より毎年200万円増の高校経常費補助金獲得に至りました。結果も踏まえ、その改善に向けての積極的な姿勢が評価されての受賞です。三名を代表して菱田さんは「改善提案をしやすい環境を整えてくださった周りに感謝すると共に、今後も期待に応えられるよう積極的に業務改善に努めていきたい」と話してくれました。おめでとうございます。



▲(左から)菱田さん、奥村理事長、佐々木さん、野島さん